

デザイン仕様書

■内容

ハイエンドホテルの空間を演出する「括り（くくり）糸束」のインスタレーション
もしくはプロダクト

■基本コンセプト

- ハイエンドホテルや高級旅館のラウンジや客室等の空間演出に用いる、インスタレーション・プロダクト
- 「括り糸束」{※} を使って制作するアイテムと、その使用イメージまで含めた提案を求める

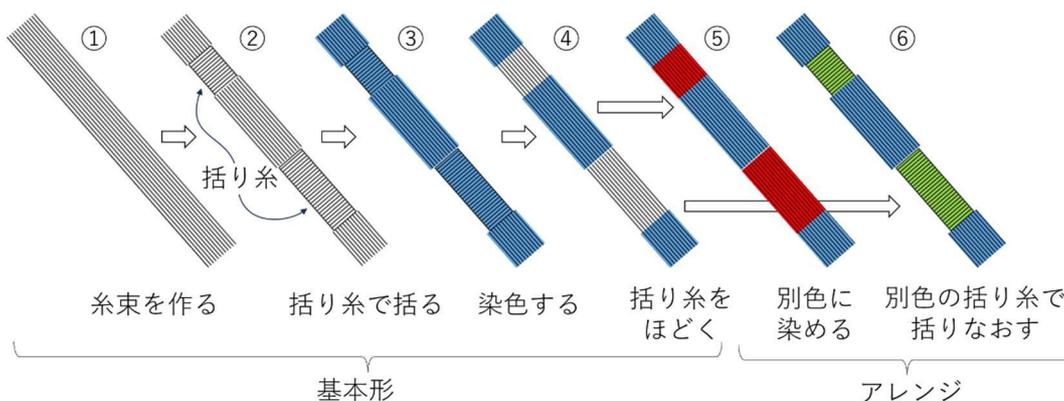
{※} 詳細については、「具体的な仕様」を参照



■具体的な仕様

【「括り糸束」について】

- 久留米緋（注1）の染色工程の中でも重要な「括り」工程で製作されるもので、糸を束ね（①）染めたくない部分を別の糸（括り糸）で括った状態（②）と、それを染色した後（③）、括り糸を外した状態（④）がある
- アレンジとして別色での染色（⑤）、別色の括り糸で括りなおす（⑥）事も可



- 図の②～⑥までを使用可能とする
- 糸束は糊付けされており、括り糸をほどいても、糸束が自然にほどけることはない

• これらを使ってインスタレーションやプロダクトをどう表現するかは提案者の自由
 <「括り糸束」イメージ写真>



②の状態

③の状態

④の状態

⑤の状態

⑥の状態

【アイテムについて】

- ラウンジや客室の空間を演出するインスタレーションやプロダクトとして使用できるもの
 - 無意識に目を惹くフォーカルポイントとして空間を束ねるもの
 - パーティションやスクリーンとして空間を仕切るもの
- 設置方法は、壁に取り付ける、天井から吊るす、床に自立させる等、自由に提案可
- 設置のための器具込みの提案も歓迎

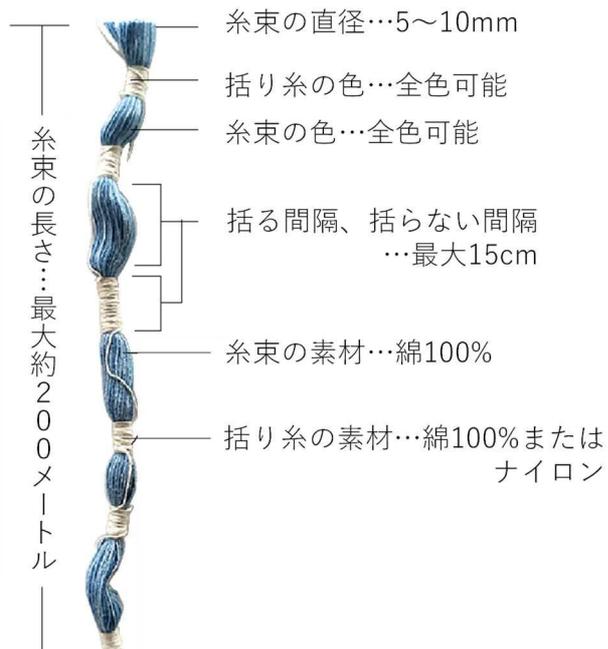
【デザインについて】

- 上質な時間を提供するハイエンドホテルや高級旅館等に似合うデザイン
- ザ・リッツカールトン、NIPPONIA HOTEL、星野リゾートなどでの採用を想定

【素材（括り糸束）について】

- 詳細は下表、下図の通り

糸束の長さ	最大 200m	
糸束の直径	5~10mm	
括り糸 色の種類	全色	
糸束 色の種類	全色	
糸束の素材	綿 100%	
括り糸の素材	綿 100%または ナイロン	
括り、及び非括り の間の隔	最大 15 c m	
色の数	糸束	2 色 (+非染色)
	括り糸	3 色



【制作方法について】

- 吊り下げて横に並べる、縦横で編む、マクラメ編み等、表現方法は自由



【提案時に必要な項目について】

- 使用想定場所（エントランス、ラウンジ、階段踊り場の壁、客室のベッドヘッド後方の壁、客室のベッドルームと居室の間等）
- 使用シーンのイメージ（上記の使用想定場所で、どのように設置するかをイメージしたイラスト、CG、写真等）
- 想定される寸法
- 絵柄案（なお提案いただいた絵柄案を含むインスタレーション・プロダクトのデザインについては、採択後、令和8年3月の履行期限までの間に製品企画グループと共に更にブラッシュアップした上で、最終的な成果品となります）

【「括り糸束」サンプル送付について】

「括り糸束」のサンプルが必要な場合は、サンプルを郵送可能ですので、以下の申込み先宛に、メールで『住所、氏名、連絡先（電話）』をご連絡ください。

「括り糸」サンプル申込み先

福岡県工業技術センターインテリア研究所
技術開発課（担当：楠本、中嶋）
宛先：nikawa-info@fitc.pref.fukuoka.jp



■ターゲット・販売戦略

【ターゲット】

- 上質な時間を提供するハイエンドホテルや高級旅館等

【販売戦略】

- 国際ホテルレストランショー、インターナショナル・ギフト・ショー等の展示会への出展し、ホテル関係者へ宣伝活動
- 建築・建材展等の展示会への出展や、設計事務所等への直接営業等、建築関係者への宣伝活動

■デザインに対する考え方とデザイン事業者への要望

歴史的・芸術的価値が高く評価され、1957年には国の重要無形文化財に指定されている久留米絣の伝統的技法である「括り(くくり)」自体をプロダクトに落とし込んで製品化するという試みは、いまだかつて前例がありません。

文献によると古来より糸束を括って染めた糸は縁起が良いものとして儀礼の際に使われていたそうです。

今回のプロダクトによって「括り」にスポットがあたり、絣の素晴らしさがグローバルに再認識され産地への好循環が生まれる可能性のある製品を皆様と共にぜひ創り上げたいという想いでこのプロジェクトを企画いたしました。

ぜひ自由な発想でのご提案をお待ちいたしておりますので、よろしく願い申し上げます。

■実施スケジュール（予定）

2025年9月：デザイン事業者決定

2025年10月：デザイン事業者顔合わせ及び試作制作打ち合わせ

2025年11月：一次試作

2025年12月：二次試作

2026年1月：ブラッシュアップ

2026年2月：完成

■プロジェクト参画企業等

企業名：有限会社 坂田織物

主な商品：久留米絣の反物・洋服・小物

参考URL：<http://sakataorimono.com/>

坂田織物は「絣を身近にする」というビジョンを掲げて、伝統的工芸品である久留米絣の機屋（はたや）を福岡県広川町で営んでおります。

自社工場で100年は経過しているシャトル織機により絣を織り上げ反物や洋服にしての卸や販売が主な事業内容です。

近年、絣のマーケットは縮小してきておりますが、新たな産地の未来を見据えた商品の開発やデザインの見直し、市場の創出などに取り組んでいるところです。

1948年 創業

1980年 法人化 久留米絣の製造・企画・販売の製造小売業

2022年 食をきっかけに絣を知ってもらうコンセプトのSAKATACAFEをスタート

2022年 新ブランド sakata がスタート (<https://brand.sakata-kasuri.jp/>)

2023年 縫製等加工事業を内製化する久留米絣新作発表会で経済産業大臣賞受賞

2024年 ニューヨークパーソンズ美術大学の特別講義で登壇

マンハッタンで久留米絣のエキシビションを開催

2025年 レジデンス（弟子入り）プログラムをスタート

(<https://kurumekasurijapan.com/>)

■ 語句説明

（注1）久留米絣：福岡県広川町や筑後市を中心に生産される伝統的な綿織物。糸を括って藍染めし、独特の絣模様を織り出す技法が特徴で、素朴ながらも緻密な美しさがある。国の重要無形文化財に指定されている。